

9 アフターサービス・お問い合わせ

取扱説明書、注意書きなどに沿って、商品を適切にご使用されたにもかかわらず、不具合や異常が確認された場合は、購入された販売店または相談窓口へ相談願います。不具合内容や現品を確認させていただき、無償修理等の対応を検討し、ご案内させていただきます。

・次のような原因による破損や事故につきましては、補償対象外となりますので注意してください。

- 使用上の注意や禁止事項を守らず使用や取り扱いした場合
- 指定以外の使用方法
- 使用による経年劣化

・購入証明するものが無いと、補償対象外となりますので注意してください。ご購入時の記録等は大切に保管してください。

・不明な点やご意見、修理等に関する相談は、販売店または相談窓口へお問い合わせください。

〈相談窓口〉

E-mail: holhol@eiken-kk.co.jp

TEL: 080-2483-2500

ガレージサウナ インスタグラムページ
メッセージ



〈製造元〉

エイケン工業株式会社

〒437-1698 静岡県御前崎市門屋1370 TEL: 0537-86-3105(代) FAX: 0537-85-2033

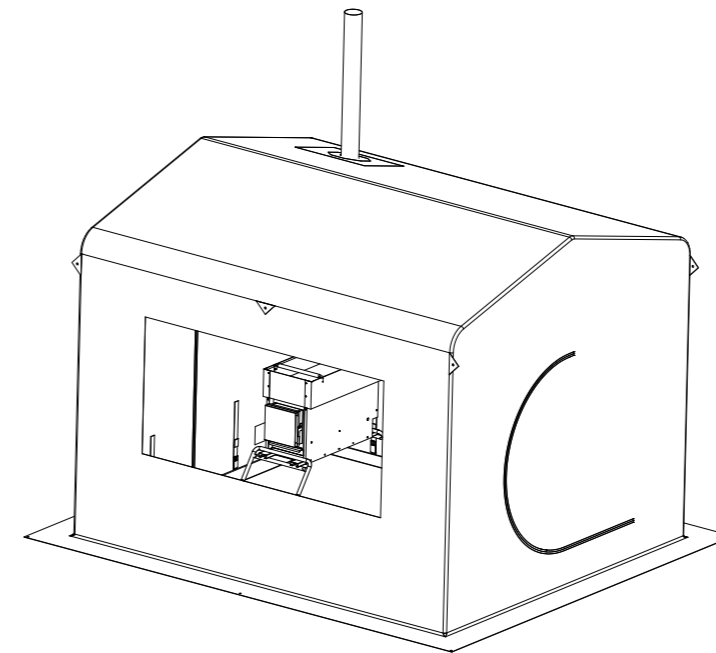
Garage sauna

ガレージサウナ

本製品を安全にご使用いただくためにも、
本取扱説明書を必ずよくお読みになり、内容を十分理解してからご使用ください。
また、使用になられる方が、いつでも確認できる場所へ大切に保管してください。

〈目次〉

1. ご使用上の注意 (安全のために必ずお守りください) ……	2
2. 各部の名称およびセット内容	
①各部の名称と仕様 ……	4
②セット内容 ……	5
③準備物(別売) ……	5
3. 使用前の準備 ……	6
①フレーム組立 ……	5
②テントの設置 ……	8
③ストーブの設置 ……	9
④設営確認 ……	10
4. 使用方法	
①着火前の準備 ……	11
②着火と燃焼の安定 ……	12
③室内の温め方 ……	12
5. 入浴方法と楽しみ方 ……	13
6. 消火方法と片付け ……	14
7. 緊急時の対処方法 ……	15
8. メンテナンスと保管 ……	15
9. アフターサービス・お問い合わせ ……	16



ガレージサウナ インスタグラムページ
設営方法などの動画はこちら



エイケン工業株式会社

1 ご使用上の注意・禁止事項! (必ず お守りください)

●本書には、人への危害、財産への損害を未然に防止するために必ずお守りいただきたい事項を記載しています。誤った使い方によって生じる危害や損害を3つに区分してそれぞれ警告表示とともに記載しています。必ずご確認ください、本製品を正しく安全にご使用ください。



危険

人が死亡または重傷を負う、または火災の危険が大きい内容です。



警告

人が死亡または重傷を負う、または火災につながるおそれがある内容です。



注意

人が怪我を負う、または物的損害が発生するおそれがある内容です。

禁止事項、強制行為を、次のアイコン表示で区分し、説明しています。



「禁止」:絶対にしてはいけない行為



「強制」:必ず行っていただきたい行為

危険

屋内利用、宿泊禁止

○本製品は屋内での利用は禁止です。必ず屋外で利用してください。また、サウナ以外の宿泊などでの利用も禁止です。

ストーブ扉の開放禁止

○使用中は操作時以外、必ず扉が閉じている状態で使用してください。また、破損や変形などで扉に隙間ができてしまった場合は使用しないでください。

改造の禁止

○本製品を改造して使用すると、思わぬ不具合が発生する可能性があります。改造しての使用を禁止しています。

煙突の接続確認

○使用前に煙突の接続状態を確認し、ゆるみや隙間のない状態で使用してください。隙間から煙が漏れてテント内に充満し、酸欠や一酸化炭素中毒の危険性があります。

常に換気確認

○換気口は常に開放状態であり、常に換気されている状態であることを確認してください。換気が不十分だと、不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因となります。

警告



禁止行為

- 部品や本体に破損や異常が確認された場合は、部品交換や修理を行い、安全確認のうえご使用ください。
- テント内で燃えている薪や炭の取り扱い、火災や火傷、テントの破損の原因となります。ストーブから取り出さないでください。
- ストーブの燃料には、乾燥した薪のみを使用してください。化学薬品が含まれていないことを確認ください。火の粉が飛散しやすい紙類や枯れ葉等は火災の危険性が高まりますので使用しないでください。
- 化石燃料(石炭・練炭・豆炭等)を使用すると、一酸化炭素の発生やストーブの損傷の恐れがありますので使用しないでください。
- 引火性のある液体や気体(ガソリン、プロパンガスなど)は、火災の危険性がありますので、テント内へ持ち込まず、できるだけ遠ざけて保管してください。
- 熱や水分などに弱い物(電化製品、樹脂製品)を持ち込むと、故障や変形してしまう可能性があるため、持ち込まないでください。
- テント内に可燃物を放置しておく引火して火災の原因となってしまいます。特に衣類等の乾燥は行わないでください。
- 強風や豪雨の時、雷鳴時等、天候不順時には絶対に使用しないでください。



強制行為

- テント内に煙の臭や異臭、息苦しさ、喉の痛み等の異変を感じたら、速やかにテントの外に出て換気を行ってください。
- 設営場所は使用時の気象情報に注意を払い、安全な場所を選んでください。万が一の緊急事態に備えて、身の安全を守る避難場所が確保できる所へ設営してください。水辺に設営する場合は、ダムや放流や激しい雨による増水に注意が必要です。
- 使用中は定期的に換気してください。吸気口ネットの通気性が確保されているか確認してください。
- 使用前には煙突に煤などが詰まっていないか確認してください。使用後は必ず煙突内をブラシや洗浄剤で煤やゴミを取り除いて保管してください。煙突が詰まっていると、吸気不良による煙の逆流や燃焼不良の原因になります。
- 使用中のストーブと煙突表面は高温です。絶対に素手で触れないでください。必ず耐熱グローブを着用し、ストーブ操作を行ってください。(革製をお勧めします)
- 加熱後のサウナストーンは、常温に冷めてから取り扱ってください。火傷の原因となります。保温性が高いため、冷めるまでに時間がかかりますので注意してください。使用中のサウナストーンは高温ですので、トング等の器具を使用して取り扱ってください。
- 煙突トップヘット笠やH笠煙突を取り付けての燃焼は行わないでください。排煙の抵抗となり十分な排煙が行われず、テント内への排ガスが漏れ出す可能性があります。
- ストーブ燃焼中は一酸化炭素警報装置をテント内へ設置してください。

注意



禁止行為

- 定員以下の入室人数で利用してください。室内での、転倒による怪我やストーブや煙突への接触による火傷の危険性が高まります。
- テント周囲のロープでの引っかかりに注意して、走り回ったりして遊ばないでください。(特にお子様やペットなど)転倒による怪我や、最悪の場合テントの倒壊の危険性があります。
- お子様が入浴する際は、必ず大人の方が付き添い入浴してください。また、室外にお子様のみで待たせないでください。必ず大人の方が付き添ってください。



強制行為

- 設置手順や操作方法、付属品等の確認のため、試し張りを行ってから使用してください。
- 設営場所の気象状況を必ず確認してください。警報以上の発令など悪天候が予測される場合は、使用しないでください。天候の急変(強風や豪雨)により危険を感じたら、使用を中止してください。
- 鋭利な部分への接触や手を挟むなどでケガをする危険性があります。手袋を着用するなど、必ず保護具を着用して設営や片付け作業を行ってください。
- サウナストーンは十分乾燥した状態の物を使用してください。吸水したものを加熱すると石が破裂して怪我をする恐れがあります。
- 使用後の炭や灰は、火消ソボや指定場所への廃棄等適切に処分してください。
- 入浴中に体調の異変を感じた場合は、入浴を中止し安静にしてください。必要に応じ医師の診察を受けてください。
- 使用前には、設営場所の火気使用の法令や地域の条例等を必ず確認し、使用可否の確認を行ってください。使用地域にて火災警報が発令されている場合、発令された場合は、使用しないでください。
- 使用中はテント周囲が無にならないよう、必ず誰かが付き添ってってください。
- 必ず消火準備(水を入れたバケツや消火器等の設置)を行い、使用してください。
- イベント等での使用は、必ず使用地域の法令や条例を確認し、それに従い対応ご使用願います。

2

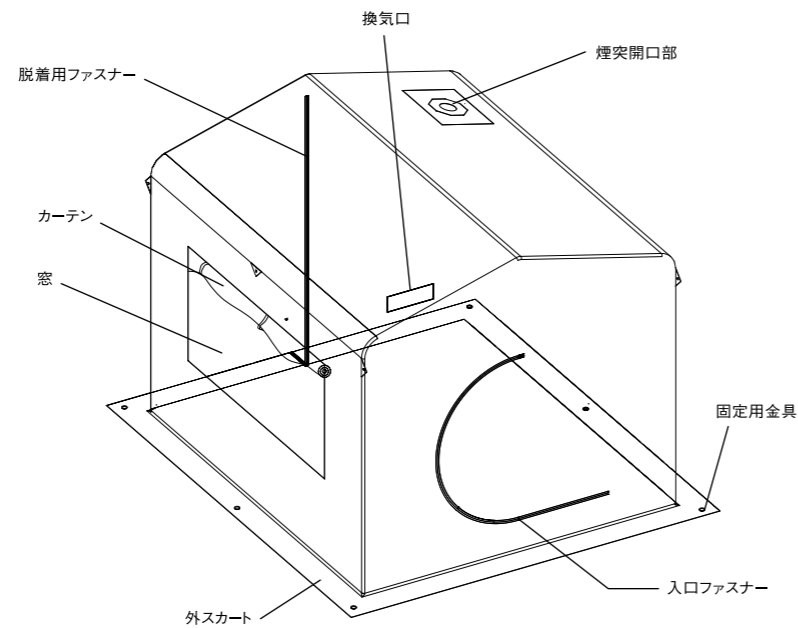
各部の名称およびセット内容

①各部の名称と仕様

テント

〈仕様〉

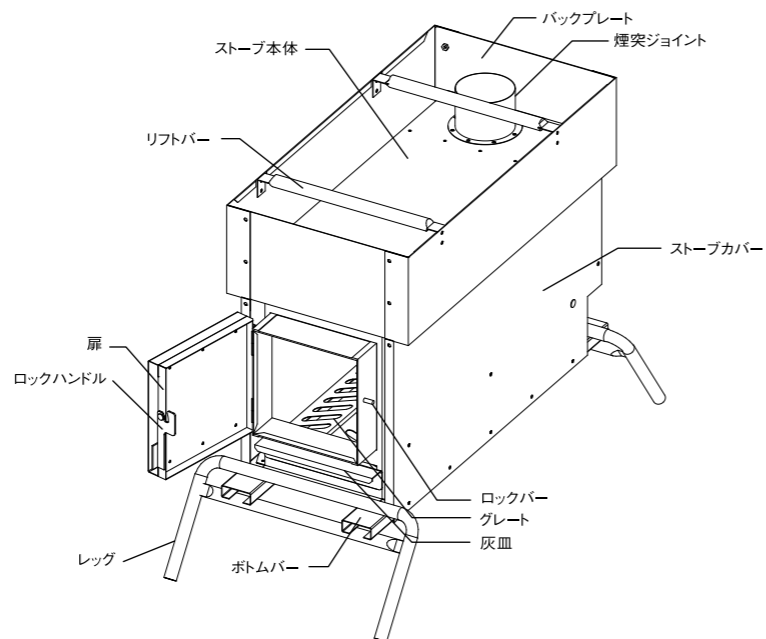
定員	最大6名
収納寸法	55×40×18cm
重量	5kg
テント材質	ポリエステル (テント、撥水加工) PVC(窓) ポリアミド、PVC(その他)
フレーム重量	15kg
フレーム	鉄(亜鉛メッキ処理)
外径	19.1mm
外寸	206×245×190cm (底部長さ214×253cm)



ストーブ

〈仕様〉

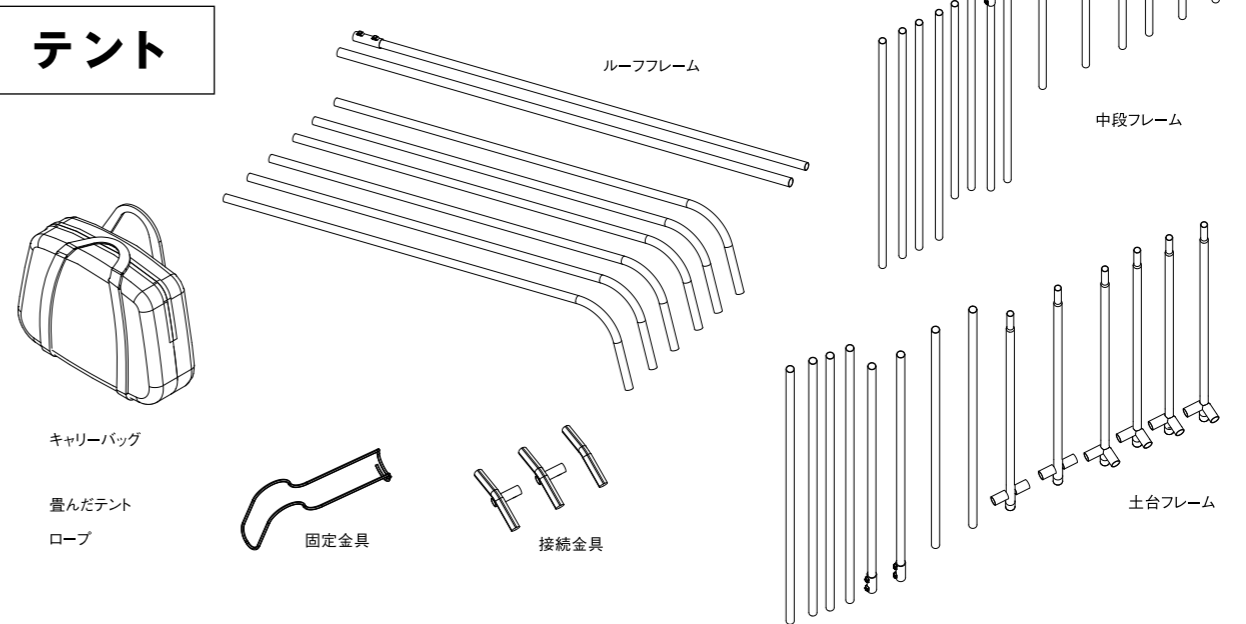
重量	16.5kg
材質	ステンレス鋼板
ストーブの高さ	61cm
本体寸法	31×70×46.5cm
ストーブ全高	60cm



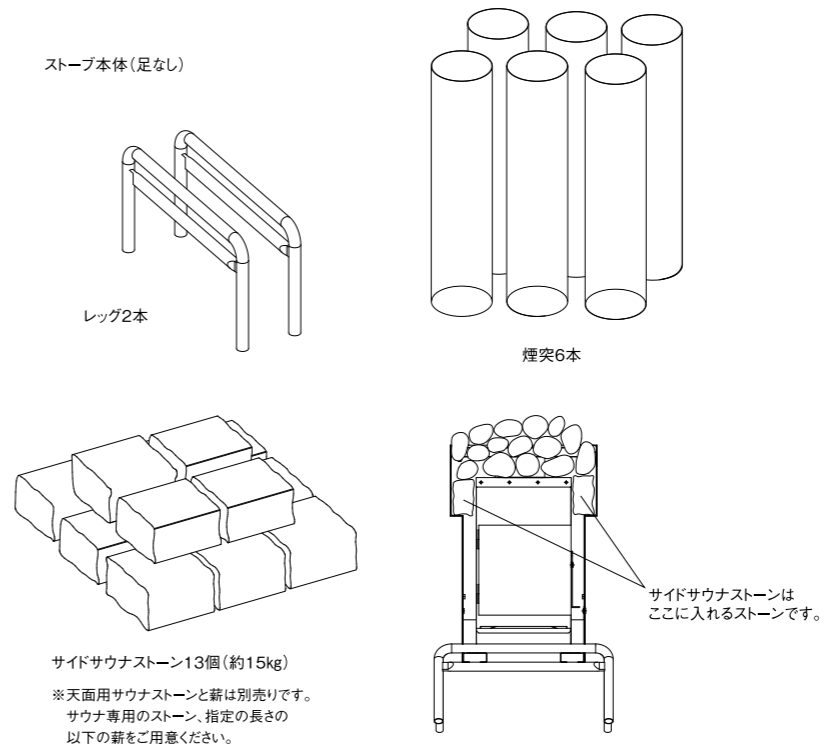
②セット内容

セット内容が不足していたり、製品に不具合あった場合は、使用できない場合があります。梱包内容と商品状態の確認を事前に行ってください。

テント



ストーブ



③その他必要な物(別売)

●必需品

- サウナストーン(10kg~15kg)
- ベンチ・椅子(金属が露出していない物)
- 一酸化炭素チェッカー
- ベグ12本(铸造ベグ20cm以上)
- 耐熱グローブ
- ベグ打ち用ハンマー
- 乾燥した薪(長さ35cm以下)
- 火ばさみ・トング
- ロウリュ用バケツとラドル(できるだけ長い物)

●あると便利な物

- 火消ツボ
- サウナ用アロマオイル
- サウナマット
- サウナハット
- 温度計
- 湿度計
- テント用ウェイト(重り)
- 焚火シート

3 使用前の準備

■組立に関する注意事項

警告

禁止行為

ストーブ下部に耐熱ボードを敷くなどして十分な熱対策を行えば、ウッドデッキや芝生、人工芝などの熱が影響するものの上でも使用できますが、対策が不十分ですと変色や変形、溶解してしまうので十分注意してください。直に設置することは禁止です。

強制行為

- ・!大きな建物や樹木の近くでないことを確認してください。できる限り遠ざけてください。気流の影響や、火災の危険性等があります。
- ・設営場所は、傾斜や凹凸のある場所は避けて、なるべく平坦な場所を選んでください。
- ・煙突の排気口から3m以内には可燃物がない状態でご使用ください。宿泊用のテントやタープからはできるだけ遠ざけてください。煙や火の粉、煤が飛散してトラブルとなる恐れがあります。
- ・周囲に火災の危険性が考えられそうな、乾燥した草むらや枯れ葉が大量にある場所を避けて使用してください。
- ・ストーブ周囲の30cm以内に可燃物がないことを確認してください。(テント側面含め)

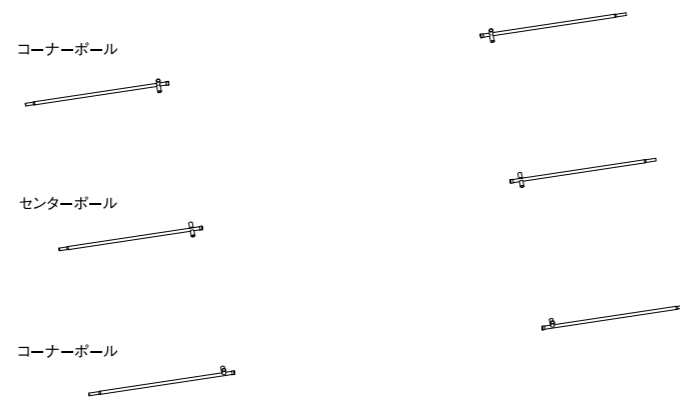
注意

- ・危険防止のため、組立は2人以上で作業してください。
- ・指を挟む等の怪我をする可能性があるので手袋を着用して作業を行ってください。
- ・入り口が風下側になるように設営すると、テントへの風の影響が軽減されます。
- ・ベグでの固定が行えない、砂地や積雪、アスファルト等へ設置する場合は、ウェイト(重り)などを使用して確実に固定してください。
- ・設営は大人の方が行ってください。お子様では怪我をする危険性があります。

① フレームの組立

土台フレーム

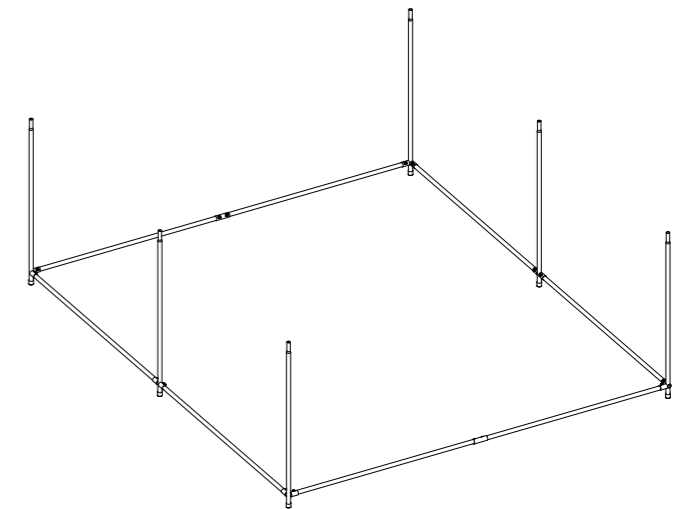
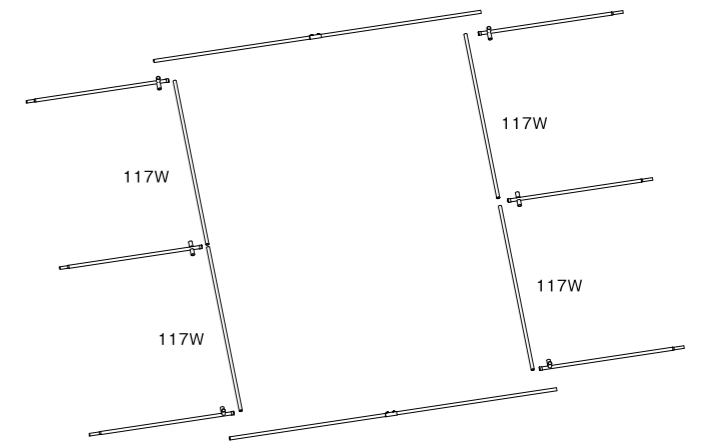
1. テントを設置する場所に、石や落ち葉などがある場合は取り除き、地面の凹凸はならしてできるだけ平らに整えてください。
2. Wフレーム(1m)のジョイント装着部品へ未装着部品を挿入し、ドライバーにてネジを締め、確実に固定してください。



3. キャップがついているコーナーポール4本とセンターポール2本、Lフレーム4本(1.2m)、連結Wフレームを右図のように配置します。(コーナとセンターポールの間違いに注意)

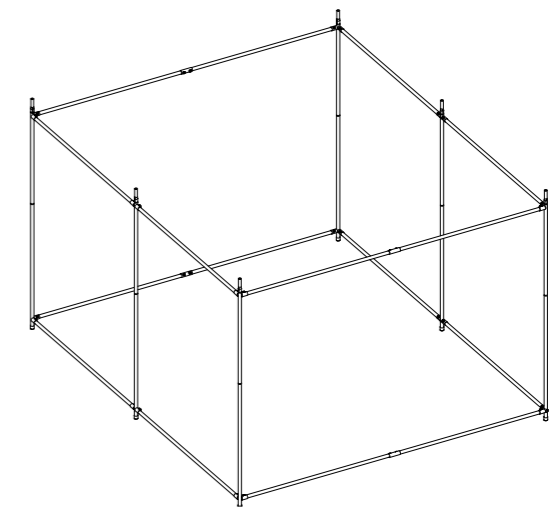
4. 各ポールのジョイントへフレームを奥まで確実に挿入し、付属のプラスドライバーでネジを締めて確実に固定して下さい。

5. 全てのフレームを同じようにポールへ接続することにより、自立します。



中段フレーム

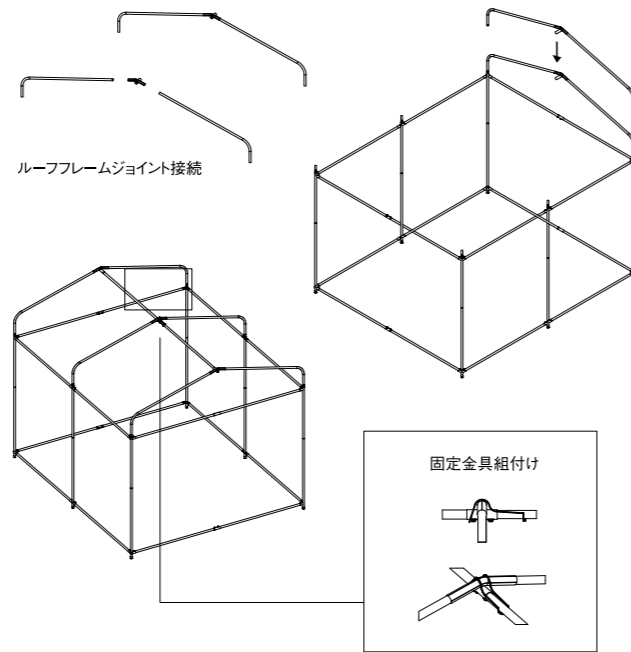
1. ポールのジョイント側を上にして土台ポールへ差し込みます。この部分はねじ込みの必要はありません。
2. 土台の接続と同様に、各フレームをジョイントの奥まで確実に挿入し、付属のプラスドライバーでネジを締めてしっかりと固定してください。



3 使用前の準備

ルーフフレーム

1. 先端が曲がっているルーフフレームをポールに挿入してから、ルーフジョイントを差し込み反対側のルーフフレームをジョイントに挿入し、ポールに差し込んでください。
2. 同様に残り2本の屋根もフレームを接続します。
3. 最後に残った2本のルーバーを接続し、屋根中央に接続します。
4. 中央のルーフフレームへ固定金具にてフレームバーを固定します。



② テントの設営

1. 組み立てたフレームの短い側にテントを広げ、ストレートのチャックを開きます。
2. 開いたチャックの両端を2人で持ち、フレームにかぶせます。フレームにテントが引っかかった時は、無理に引っ張らずにテントを上下に揺らして引っかかりを外しながらかぶせてください。
3. テント内側の全ての固定ベルトをフレームへ取り付け固定します。
4. 各ポール部へ付属のフレームカバーを取り付けます。
5. テントのスカート部の穴にペグを打ち込み、テントを確実に固定します。
6. テントの屋根部分にある穴にロープを通し、ペグや重りなどへ固定します。テントがしっかりと張るよう、ロープの長さ調整を行って下さい。



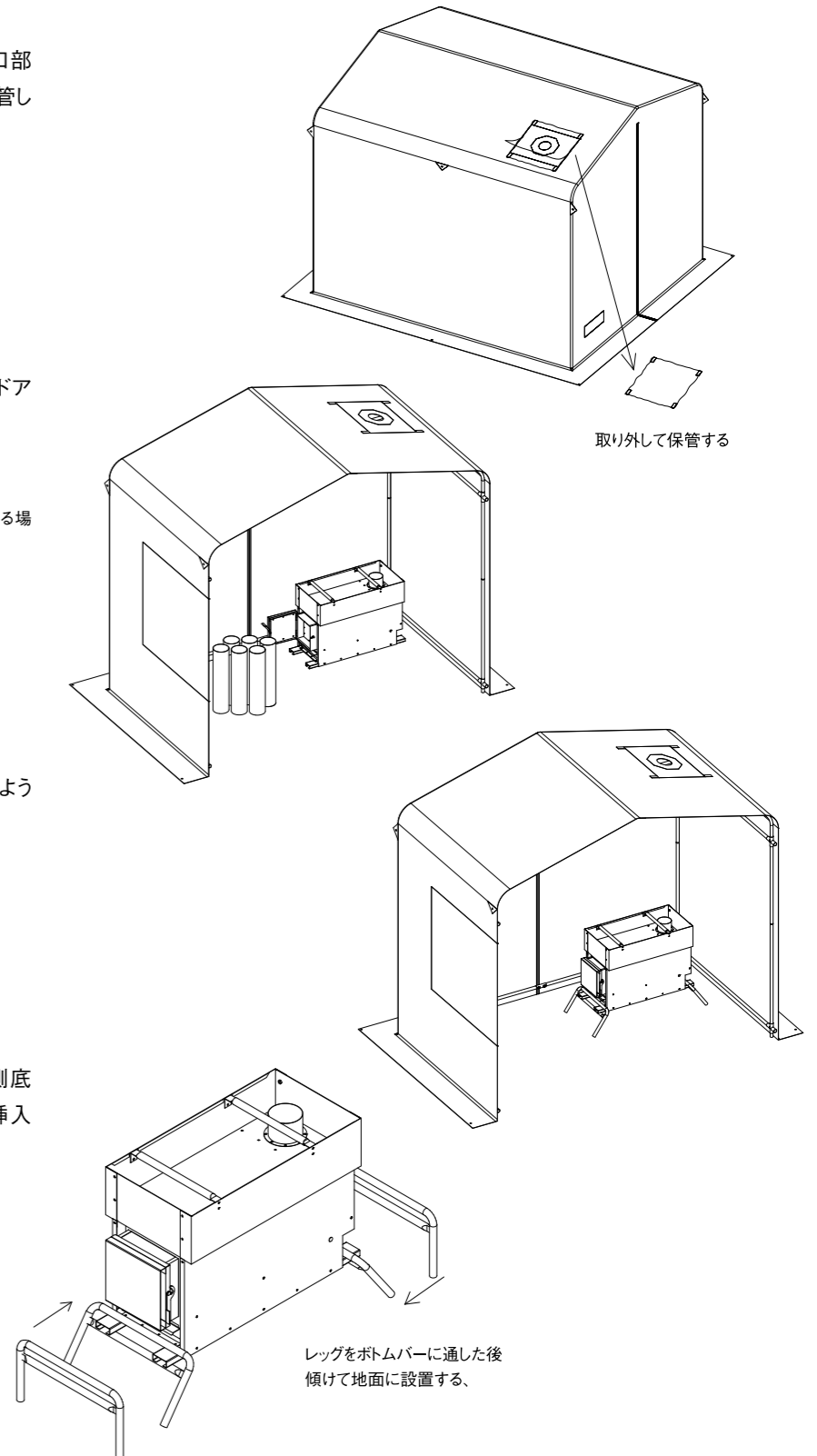
③ ストープの設置

1. テント天面に取り付けられている煙突開口部のカバーを取り外します。無くさないよう保管して下さい下さい。
2. テント内にストーブを持ち込み、ストーブのドアを開けて、煙突を取り出します。

⚠ 警告

部品の表面にビニール製の保護シートが貼られている場合は、必ず剥がしてください。

3. 煙突開口部の下へ、ストーブの扉が開くように配置します。
4. 付属のレッグ(2本)を、ストーブ本体両側底部面に飛び出しているフレームバーへ挿入し、安定するよう自立させてください。



3 使用前の準備

5. 全ての煙突をしっかり連結して、煙突開口部からテントの外へ突き出してから、ストーブの接続部へ確実に挿入してセットしてください。この時、煙突が垂直でない場合は、ストーブの位置を移動させて調整してください。

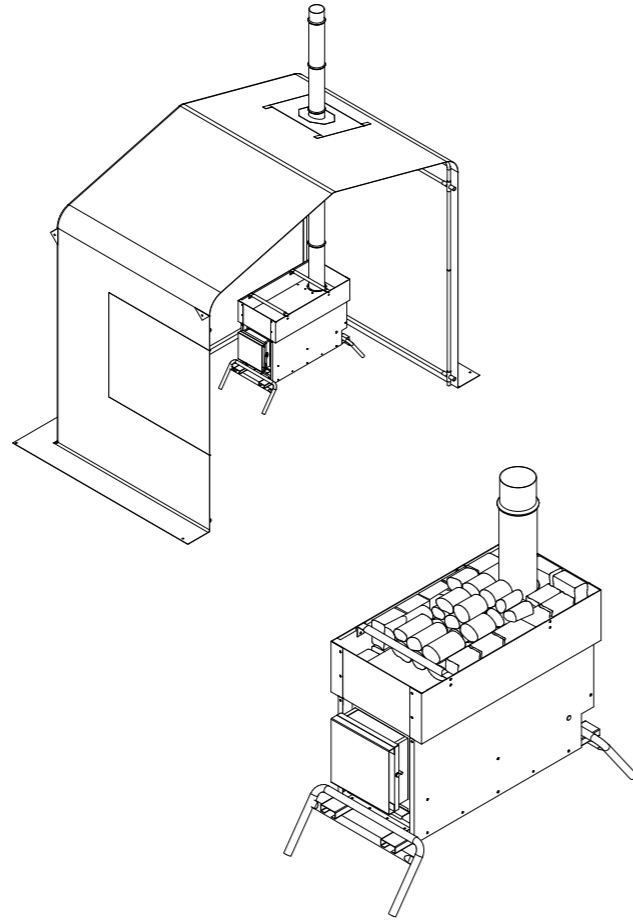
⚠ 警告

ストーブはテントから30cm以上確保してください。

6. ストーブ本体の安定していること確認し、ストーブ本体とカバーの隙間へ付属のサイドストーンを挿入後、サウナストーンが落下しないよう積み上げて下さい。

⚠ 警告

- ・ストーブは、できるだけ水平に設置し、ぐらつきの無いことを確認してください。薪投入口が上向きだと、煙が流出する恐れがあります。
- ・必ず専用のサウナストーンを使用してください。特に河原の石などは、破裂することがあり大変危険です。
- ・サウナストーンは水分を含んだ状態で、加熱すると破裂や破損する恐れがあります。
- ・天板の変形を防止するため、サウナ石の過剰な積載は行わないでください。大きな負荷が加わり、天板の変形やストーブ破損の原因となります。積載量を守り、均等になるように積載することをお勧めします。



4 設営確認

設営作業が終わったら、警告注意に従い下記の安全確認を行ってから使用を開始してください。

- テントの入り口の向き
- ストーブの周囲の可燃物
- ストーブの安定性と入り口角度
- 煙突の連結
- 煙突の排気口から可燃物の距離、周囲の状況
- テントの固定状態
- 換気口の開放状態
- 消火対策(水を張ったバケツ、消火器など)の設置

4 使用方法

① 着火前の準備

■必ず準備して置くもの!

- 乾燥した長さ35cm以下の薪
 - 着火剤、ライターなど(紙類での着火は行わないでください)
 - 耐熱グローブ、火ばさみ
 - 一酸化炭素チェッカー、消火器や水を張ったバケツ
- ❗ 針葉樹は、火の粉が飛散する可能性があるため入れ過ぎに注意してください。
 - ❗ 薪に化学物質(接着剤や塗料など)が含まれていないか確認してください。
 - ❗ 高温による異常や損傷、有毒ガスの発生に繋がります。

■着火と燃焼に関する注意事項

⚠ 警告

⊘ 禁止行為

- ・薪は入れ過ぎないように注意して、ストーブドアの高さの2/3程度に留めください。過剰投入すると、燃焼過多による早期劣化の原因になります。また、吸気不足となり、煙の逆流や不完全燃焼の危険性があります。

❗ 強制行為

- ・着火後は、煙が逆流してくる事がありますので、テントのドアを開放状態にし、換気を行いながら操作してください。
- ・一酸化炭素チェッカーを配置してから、着火作業を行ってください。

⚠ 注意

- ・薪の入れ過ぎや燃焼過多の症状は、ストーブや煙突表面が赤く染まった状態が継続し続けます。火災やストーブ破損の恐れがあります。燃焼を抑えて対応してください。
- ・金属を加熱し急冷することで、金属に大きな負荷が加わり、変色や形状変形が徐々に進行していきます。ただし、過剰な燃焼や石の乗せ過ぎ等の過剰負荷の状態で使用すると、大きな変形や破損、劣化の進行を早める原因となります。
- ・できるだけ地肌が露出していない服装でストーブの操作を行ってください。(特に素肌が保護されていない入浴する前の服装は危険です)
- ・天候や外気温の影響、薪の状態により、火力や持続時間は変化します。

【ストーブを使用する前の準備】

初めてストーブを使用する前に、一度燃焼確認を行ってください。
不具合確認とともに、製造時などの付着物を焼却することで異臭を防ぎます。
テント内で行う場合は、表面の付着物が焦げて煙が発生するので、テントの扉を開放状態にし、換気の良い状態で行ってください。(着火方法に従って行ってください)

4 使用方法

② 着火方法と燃焼の安定

1. 薪のセット

炉内の灰や炭などを取り除き、通気か十分な状態であることを確認してから、底部に着火用の細い薪、その上に燃焼に使う薪の順で投入してください。

- ① 薪は入り口の段差より奥に収まるように置いてください。

2. 着火と燃焼の安定

燃焼が安定するまで、煙が逆流してくることがありますので、テントの扉を開け換気の良い状態を保ち作業を行ってください。一酸化炭素チェッカーの設置を忘れないでください。火をつけ薪が燃焼し始めている事が確認できたら、ストーブの扉を閉めてください。

薪全体に炎が行き渡ってきたら、新たに薪を投入して火力を調整してください。

煙突から出る煙が透明になったら、燃焼が安定した状態となります。

- ① 灰皿を多めに引き出しておく、燃焼が早まります。
- ① 必要に応じて、薪を追加してください。

③ 室内の温め方

燃焼が安定したら、テントの扉を閉めて室内を温めてください。定期的に換気や薪を追加しながら、サウナストーンが十分に加熱され、室内が適温になるよう調整してください。(おおよそ30分程度)

- ① 換気や薪の追加間隔は、10～15分おきが目安です。
- ① サウナストーン過熱状態は、水をかけて表面が瞬時に乾燥する状態が目安です。
- ① テント内外のスカートへ重り(砂や小石)を載せて、気密を高めると室温が上昇します。
- ① 危険: 吸気口は必ず開放状態を保ってください。

⚠ 注意

燃焼過多

・薪の入れ過ぎや燃焼過多の症状とは、ストーブや煙突表面が赤く染まった状態が継続し続けていることを指します。火災やストーブ破損の恐れがあります。空気量を調整し燃焼を抑えて対応してください。

5 入浴方法と楽しみ方

■入浴の注意事項

⊘ 禁止行為

・次の項目に該当する方は、入浴できません。

- 体調が悪い方 ● 飲酒している方
- 睡眠作用のある薬を服用された方 ● 妊娠中の方
- 医師から入浴を禁止されている方 ● 乳幼児

・お子様のみ入浴は禁止です。必ず大人の方が付き添い入浴してください。
・病気や怪我の治療・療養中、薬を服用中の方は、必ず医師の許可を得てください。

⚠ 注意

・入浴中に体調の異変を感じた場合は、入浴を中止し安静にしてください。必要に応じ医師の診察を受けてください。
・テント内にて着替えなどは行わないでください。

■入浴前の確認

- ・水分補給用のドリンクを十分準備してある。
- ・ロウリュ用の水、ラドルは設置されている。(水道水やきれいな淡水を使用)
- ・椅子、サウナマットなどが設置されている。(金属性は高温になりますので使用しないでください)

■入浴について

- ・火傷や破損の可能性があるものを身に付けたり、持ち込まないで入浴してください。(めがね、時計、ネックレスなどの金属製品、防水性や耐熱性の低い物)
- ・金属製品が付いておらず、耐熱性のある衣服を着用してください。(水着が望ましい)
- ・必ずサンダルなどを履いて足を保護してください。

入浴方法

1. 服装を確認し、水分補給をしてからテントに入ります。(リラックスして入りましょう)
2. ドアを閉めて、座る場所を選んで椅子に座ります。(位置が高い方が高温です)
3. 最初は5分ぐらいを目安に入り、一度外に出て水分を取り、体を休めながら体調の確認を行ってください。
4. 体調を見ながら、10分程度を目安に入浴時間を調整していきます。(我慢大会ではないので、くれぐれも無理はしないでください)
5. 外に出た際は、必ず水分補給と休憩を取り、落ち着いてから再度入浴してください。体調が悪くなった場合はすぐに外に出て、水分補給と体を休ませてください。

■ロウリュについて

ストーブの上で加熱されたサウナストーンに水をかけて蒸気を発生させる事で、体感温度を上げて発汗作用を促進させる入浴方法です。これにより、体の新陳代謝や活性化を高める効果が期待できます。

- ・ロウリュはラドルを使い、奥から手前に少しずつゆっくりと水をかけ蒸気を発生させます。できるだけ、サウナストーンの間から水をかけるようにしてください。
- ・ロウリュをしてから直ぐには温度変化が感じられず、多少時間がかかります。再度ロウリュを行う場合は、ある程度の間隔をあけて体感温度を確認してから行ってください。
- ・ゆっくりロウリュを行い好みに合った温度へ調節しサウナを楽しんでください。

⚠ 警告

・高温の水蒸気を大量に発生させないために、一度に大量の水を掛けることは止めてください。多量の水蒸気が室内に充填し、火傷の恐れがあります。ロウリュの水は少量ずつ掛けてください。また、ストーブやストーンへの大きな負担となり、変形や破損、劣化に繋がります。

6 消火方法と片付け

■消火方法

火の付いた薪や炭を無理に取り出さずに、消えるまで放置してください。ストーブの扉は閉じた状態にしておいてください。

- ❶ 水をかけて消火や冷却を行うと、火傷の危険や劣化が早まります。
- ❷ 燃えている薪や炭をテント内で取り扱おうと、火災や火傷、テントの破損の原因となります。ストーブから取り出さないでください。

■片付け

⚠注意

- ・ストーブと煙突、サウナストーン等が熱を持っている状態では作業しないでください。
- ・手袋を着用するなど、必ず保護具を着用し作業してください。
- ・使用後の炭や灰は、火消ツボや指定場所への廃棄等適切に処分してください。
- ・金属部品は落下や荷重をかける等で大きな衝撃や負荷を加えると、変形する可能性があるので注意して取り扱ってください。

ストーブの片付け

1. サウナストーンとサイドストーンを取り除く。
2. 煙突を取り外す。
3. レッグを外し、テントの外へストーブを搬出。
4. 周囲に可燃物がないことを確認し、灰や燃え残りを消化ツボへ入れて処理する。
指定場所へ廃棄したり、水をかけるなどして完全に消火してください。
5. 取り外した煙突をトープ内へ収納し、レッグは本体の隙間などへ収納する。

テントの片づけ

⚠注意

- ・無理に引っ張ると破れたり、破損してしまうので注意してください。

1. テント内の椅子などを全て外へ搬出する。
2. ロープやベグ、重りなどを取り外す。
3. 固定ベルトを全て外す。
4. ストレートチャックを開けてテントを取り外す。(装着手順の逆で取り外す)
5. 煙突カバーを装着してから、テントをたたみ、キャリーバッグに収納する。(ベグやロープ、パイプカバー等付属品の数も確認してください)

フレームの片づけ

⚠注意

- ・ジョイント部のネジは、無理に回すと外れて紛失してしまう恐れがあるので、抵抗を感じたら回すのをやめてください。(パイプは外れます)
- ・パイプはジョイントに対し水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると変形や破損する恐れがあります。

1. ルーフフレームから組立手順の逆でパイプを外す。
2. ルーフフレーム、中段フレーム、土台フレームに分ける。(類似フレームと間違っていないか注意してください)
3. 付属ベルトで固定する。

7 緊急時の対処方法

次のような緊急事態が発生した場合、身の安全確保を最優先し行動してください。すぐにテントの外に出て、避難場所へ避難してください。

- ・予想外の天候急変による増水や強風
- ・突風や竜巻によるテント倒壊や横転の危険
- ・テントや周囲の火災発生時
- ・有毒ガスの発生時
- ・地震などの災害発生時 等々

8 メンテナンスと保管

適切なメンテナンスを行い、できる限りご愛用ください。

テント、収納袋、ロープ

- ・生地を傷めてしまうため、洗濯機やドライクリーニングでの洗浄は行わないでください。
- ・洗浄は水洗いで生地を傷めないような柔軟性のあるスポンジ等できれいにしてください。乾燥が不十分だと異臭やカビが発生してしまうので、十分に乾燥させてから保管してください。
- ・市販の撥水剤の塗布することで、テントの撥水性は改善します。塗布は、取扱説明書の指示に従い、屋外で行ってください。
- ・ファスナーへ市販の潤滑性のある油などを塗布すると作動が改善します。
- ・リペア用生地を市販の耐熱用接着剤等で貼り、補修を行ってください。

※補修は応急処置的な対応です。お客様の判断にて対応をお願いします。

フレーム、ベグ

- ・水洗いして、よく乾燥させて保管ください。防錆油を塗布しておくこととサビの発生を防ぐことができます。

ストーブ・煙突

- ・ストーブ炉内の灰や炭などを必ず取り除いて保管してください。煙突は内部のススを水洗いやブラシ等にて掃除してから保管してください。水洗いした場合は、よく乾燥させてから保管ください。金属製のたわし等を使うと傷が付きますので注意してください。
- ・変色部などを研磨剤やサンドペーパー等で研磨しないでください。
- ・保管前にストーブや煙突に亀裂や穴、変形等の異常が無いか確認を行ってください。異常が確認された場合は、部品交換等を行い正常に使用できることを確認してからご使用ください。

保管

- ・高温多湿の場所は避けてください。
- ・お子様の手の届かない場所で保管してください。

廃棄方法

- ・本製品の廃棄は、お住まいの自治体の廃棄方法に従ってください。